

HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1990. 2. 31号

「都市開教どうすべきか」アンケート調査 新寺容認は77%

兵庫教区の都市開教はどうかあるべきか——阪神、神戸ブロックと岡山市内の二百五十六か寺にアンケートを求めたところ、そのうちの七十九か寺から回答をいただいた。三二%とはいえない

またその推進のためには大半の寺院が組内も含め協力をしたいと思っておられるが、旧来の檀家以外の人々に新聞オリコミや掲示等何かをアプローチしたことには四%であり、実際の活動は難しいようである。しかし、人口が減っているのは二%であり、増加の四三%を含め七八%の場所都市開教の可能性があると考えられる。



都市開教のセンターとして活動する本願寺神戸別院

「今日、組画後においても従来の保守的な考えの人が多く都市開教も容易でないと痛感する」都市開教を語る前に、僧侶がまず僧侶らしくあるべきとおもいます「現在の組の活動に支障なきことを願う」都会寺院は食うか、食われるかの時代、隣寺を陰にまわって悪口をいう人がいる「特定の寺院へのメリットの生ずる方法は不必要」法務員だった者が、ある都市で新寺と称してヤミ坊主生活をしているが、このようなヤミ寺院の活動を認めるのか」(アンケートの設問と回答、小滝所長のお願いは2ページに)



親の心と子の心。親子の心。親子の世界を見透されることがあるが、その反対はむづかしい。たまに親のことを思えば美談になったり。当然のことであるが心暖まることがある。先日隣寺で前坊守、つまり現住職の母上の年回法要が盛大にとめられた。小生以前よりその住職さんの孝養には心をうたれていた。或る時、その坊守さんが確か八十八の時、もう十年だけ長生きしてほしいと懇願された住職さんの姿を、その法要の際、思い出した。父親の短命のわりにお陰で長寿の母をもつ師と小生の境遇。現在八十六才を越え尚、健在の母をもつ小生、師と同じ言葉が云えるだろうか、ともすればお粗末な言葉をはく自分。全く恥ずかしい次第です。最近、有名なカルガモの宿替え。全ての子ガモ、この親を信じてついて来てくれと、真先に堀にとび込む親ガモ。未知の世界ながら親を信じてとび込む子ガモ。信順の世界。子は親を見透せなくても、その心を少しでも知りたいものです。(小松俊照)

なごやか御流盃

HOI誌

◆12月23日 矯正教化研究会を別院で。終了後近くで懇親会ももたれた。◆23日 25日 寺院子弟研修会。勤式作法や晨朝参拝もあり、少し自坊のご住職のしんどさがわかったのは◆24日 25日 仏青研修会。二日からは寺院子弟と仏青との合同研修となった。教務所長の講義や市内の北野町異人館ラリーなど「このラリーが楽しみで参加しました」と話す仏青メンバー。◆25日 仏青研修会終了後午後三時より年忘れヤングひろばを開催。ゲームをしたりプレゼント交換など研修会とは打って変わって歓声なども上がり和やかな雰囲気でした。◆組長会。別院を仏青が使用のため懇親会の会場も兼ねた別院近くの旅館で開かれた。四百年の記念事業、新無量寿堂納骨申込現況の事務連絡や教区結集大会、組同朋講座等の教化依頼など。◆27日 多紀組住職寺族同朋講座を光専寺で開催。教区派遣講師は山崎一朗師。◆1月1日 別院元旦



生前の「苦勞を偲び 謹んで敬弔の意を表します。(敬称略) 赤穂北組浄泉寺前任職 「真証院釈義正」 大鷹 義正 1月1日 81才 神戸東組浄称寺前坊守 「慈昭院釈尼妙芳」 菊川いとゑ 1月6日 67才

作成部会。読本作成について第六回目の部会となり、体裁や章その方向性などが少しづつ決まっています。いろいろな方面から新しい研修読本への期待もよせられ、教区結集大会に併わせの発行を目標に委員にも教区基幹運動推進のためそれぞれの思いを読本に託してたく頑張っていたいておられます。◆20日 岡山北組同朋講座を浄円寺。講師は藤田真哲師。◆別院仏婦報恩講。前日から本堂のお掃除や炊き込みご飯の準備等をして、毎年二十日に行なわれ、輪番のご法話で仏婦の報恩講をつとめています。◆22日 赤穂南組同朋講座を専修寺。講師は藤栄行信師。都市開教推進部会。アンケート調査報告、次年度の拠点開教、文書伝道等について。◆23日 寺族婦人連続学習会を姫路中組光源寺で開催。基調講演は真俗二諦について、坊守の智慧は莊嚴と作法、六班に分かれての分散会など熱心な研修でした。

「法」を配って下さい。今回の「法」のみのりには春の彼岸にご門徒さんとのご縁を結んでいただくように作成しましたので、広く活用下さい。なお、百部以上は題字の横に寺号を印刷します。料金は一部十五円です。(事務局)

「同朋」標語を募集

近畿同朋推進協議会では毎年各寺院へ同朋運動の推進を目的として、二種類のポスターを二枚配布させていただきます。今年も標語を広く募集します。今年も標語を広く募集します。今年も標語を広く募集します。

「法」を配って下さい

今回の「法」のみのりには春の彼岸にご門徒さんとのご縁を結んでいただくように作成しましたので、広く活用下さい。

なお、百部以上は題字の横に寺号を印刷します。料金は一部十五円です。(事務局)

寺報から

法語ポスター 八種類を発行

神戸湊組の年間行事
広報部 おくればせながら、この「みなとそだより」が、年二回発行されるようになったものが「組広報」の活動です。今後、ご門徒のみなさんの投稿ものせてもらいましょう。

次に「揭示伝道」といい、寺の掲示板や堂内につるされているものです。これも年二回、八種類を発行しています。法話を聴聞することも大切ですが、この門前の法語も、足を止めて、じっくりとわが胸に聞いてもらいたいものです。

最後に「テレホン法話」ですが、残念ながら、まだ活動されておりません。毎週三分間の法話の作成にヘキエキしています。しかし、これも老境の人生の大家、老任職の話、若きまじめな後任(ゴジュウ、つぎの任職)の熱意によって、近い将来の実施がまたれるとところです。

(神戸湊組だより第二号)

都市開教は必要 93%

60%がテレホン法話開設したい

回答内容

都市開教についてのアンケートに寄せられた回答内容は次のとおり。(平成元年十一月実施)

〔Q〕都市開教の必要性について?

①どうしても必要五八%②将来は必要三五%③あまり必要でない三%④全く必要ない一%⑤その他二%

〔Q〕あなたのお寺のある地域について?

①これからも都市化が進み人口が増える四三%②人口は減っている二二%③あまり変わらない二五%

〔Q〕あなたの地域の宗教について?

①旧来からある他の仏教の宗旨が多い四九%②新興宗教が多い二八%③真宗のご門徒が多い一八%④その他五%

〔Q〕あなたの地域の真宗のご門徒について?

①門徒は増えている三〇%②減っている一二%③変わらない五八%

〔Q〕あなたのお寺の法要等の参詣者について?

①参拝者は年々増えている二五%②年々減っている一七%③何年も変わらない五五%④その他三%

〔Q〕あなたのお寺の立地条件(開教のうえから)等について?

①新聞オリコミで法座などを案内したことがある四%②お寺以外の場所に法座案内等掲示した二六%③テレホン法話をしている七%④定期的に地域の会館や老人ホームで講演をしている五%⑤将来は開教伝道をしたくない六%⑥その必要性を感じない六%⑦その他一三%

〔Q〕これからの都市開教について、あなたの近くに開教寺院ができたなら?

①お互いに協力して伝道活動ができる三九%②協力はできないが干渉はしない二四%③別院の分院のような形であれば協力する一四%④協力はできない一〇%⑤その他一三%

〔Q〕組内に開教寺院ができたなら?

①組内寺院あげて歓迎する二〇%②組は協力しないが干渉はしない一九%③組内の大部分の寺院は協力しないと思う一一%④別院の分院のような形であれば協力

①お互いに協力して伝道活動ができる三九%②協力はできないが干渉はしない二四%③別院の分院のような形であれば協力する一四%④協力はできない一〇%⑤その他一三%

〔Q〕組内に開教寺院ができたなら?

①組内寺院あげて歓迎する二〇%②組は協力しないが干渉はしない一九%③組内の大部分の寺院は協力しないと思う一一%④別院の分院のような形であれば協力

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

〔Q〕都市開教に対してご意見ご要望があれば記入下さい。

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

〔Q〕都市開教に対してご意見ご要望があれば記入下さい。

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

〔Q〕都市開教に対してご意見ご要望があれば記入下さい。

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

〔Q〕都市開教に対してご意見ご要望があれば記入下さい。

①私組内の寺院なら協力する四一%②自坊であれば協力する二六%③自坊にもメリットがあれば協力できる二〇%④協力できない四%⑤その他九%

仏壮会員の意識調査

赤穂南組 宝専寺

拙寺仏壮は、昭和五十年に発会して以来、主な活動として、仏婦・讃仰会との三者合同での毎月の常例法座だけでしたが、昨年の役員改選で就任した新会長の「仏壮独自の座談会的な会合を持ちたい」との意向により、役員会相談の上、座談会を開く計画があり、その前に、会員の意識調査をすべくアンケート調査を実施しました。五十一名の全会員にお願いしましたところ、三十八名から解答をいただきました。一部を紹介させていただきます。

一、今迄の例会について 65%が一度は出席、残りの出席したことのない人はいかなる理由かという問いに対しては、仕事が多忙であるが圧倒的に多く、また話の内容が難解であるという意見もあり、見逃がせないことです。

二、座談会に希望する内容 教義についての勉強会が半数、仏事作法を習いたいのが三分の一で、その教義の



内容は、正信偈・阿弥陀經・御文章等の解説、仏事作法では、お経のけいこ、仏壇のお給仕を勉強したいが多かったようです。

三、浄土真宗に何を求めるか、これについては、心のやすらぎ40%、先祖供養35%、人生の道標27%、私が仏になるため13%という結果でした。ある程度仏縁のある仏壮会員でさえ、先祖供養と答えた方が多い状況

に、任職としての責任を痛感している次第です。

以上のように調査を終了し、役員会を重ねた後、まづ教章を中心にして学ぶことになり、昨年十一月に第一回の学習会を開催し、約20名の参加を得ました。今後内容の充実につとめ、今年より発行予定の「仏壮通信」を通して会員の布教会員の仏教に対する意識高揚をめざして微力ながら頑張っていきたいと思っております。

赤穂南組宝専寺住職 斯波随寛

おすすめください。

◇十時開会式◇十時二十分 布教「歴史」寺田寛了師(揖電西組浄教寺)「教書」寺廣映嗣師(大阪教区)◇十二時昼食休憩◇午後一時 布教「教書」山崎一朗師(出石組正福寺)「歴史」杉本堅正師(京都教区)「教書」大西龍雲師(宍粟組教専寺)◇三時半開会式

四月に教区の子ども集まれ

来る四月三日(火)、神戸別院メリケンパークにて教区子どもの集いを行います。

平成三年四月二日、本山

御同朋総結集に向けて

阪神東組の取り組み方

今年の十一月七日に神戸ワールド記念ホールで七千人が集い開催される「兵庫教区御同朋総結集大会」にむけて、各組においても大会が実施されたり計画されたりしております。

その中から今回は阪神東組の取り組みを紹介させていただきます。

どんな大会をもつかは、組の独自性によって違いがあつて当然であります。ただ、ここだけは踏み外して

はならない必須条件と、大会の結果よりも重要視しなければならぬ点を次に挙げてみます。

(一)個人や部による企画ではなく、組内の寺、組織の連帯の協議共働で行なわれなければならない。

(二)組の連帯協議のなかで次のことが、集中的、かつ具体的に明らかにできるよう工夫努力する。

(A)めざされた「差別の克服の現状はどうなっているか?」

(B)組の基推は確立したか? 機能しているか?

(C)教化団体の組の連帯はできているか?

(D)組のなかの寺、寺の連帯としての組は活性化しているか?

(E)組の今後の緊急課題は何か?

以上の点を勘案しながら、我が阪神東組は「組御同朋総結集大会」にむかつて、次のように計画を推進している。

- ①日時 平成二年八月四日 午前十時～午後三時
- ②場所 伊丹市立文化会館
- ③対象、規模 各寺院、教化団体一般、他二十人以上(五百人～千人)
- ④講師 竹下哲師
- ⑤参加費 約一、五〇〇円以内
- ⑥参加記念品 品目未定
- ⑦日程(略)

受け布教大会」が次の趣旨で開催される。

平成三年に厳修される顕如宗主・寺基移転四百年法要のお待ち受け態勢を協力に促進するため、各教区において布教団主催で布教大会を開催し、顕如上人のご遺徳を讃仰するとともに本願寺寺基移転の歴史に学び、宗門の基幹運動を推進する。尚、布教内容は予め、①顕如上人のご遺徳を讃仰し本願寺移転の歴史を語る布教と②教書のお心を体して基幹運動を推進する布教、の二つとされている。

当日の日程と出講者は次のとおりです。広く聴聞を

受け布教大会」が次の趣旨で開催される。

平成三年に厳修される顕如宗主・寺基移転四百年法要のお待ち受け態勢を協力に促進するため、各教区において布教団主催で布教大会を開催し、顕如上人のご遺徳を讃仰するとともに本願寺寺基移転の歴史に学び、宗門の基幹運動を推進する。尚、布教内容は予め、①顕如上人のご遺徳を讃仰し本願寺移転の歴史を語る布教と②教書のお心を体して基幹運動を推進する布教、の二つとされている。

当日の日程と出講者は次のとおりです。広く聴聞を

法

みのり

ものみななのいのち

輝く春彼岸

とおい 東井 義雄
よしお



草も木も、虫も鳥も、もうじつとしてなんかおれませんかというように、いのちを輝かせ始める春彼岸です。春彼岸の慈光は、ひんやりとうす暗い納屋の中にしまい込まれているじゃがいもだつて、お見逃がしではありません。早く大地に預けてくださいと、必死で叫びながら、芽を用意しています。

しかし、人間はどうでしょう。人間の世界を「此岸」の世界と申します。迷いと眠りの世界です。これに対して「彼岸」は、「み仏の世界です。親鸞聖人が「無量光明土」と仰せられている世界で、「春彼岸」「秋彼岸」にかかわりなく、年中無休で「此岸」の私たちを、まことのいのちが目覚めさせようと、無量の光を放つて、呼びずめに呼び、願わずめに願っていただきます。

覚如上人は「二季の彼岸をもて念仏修行の時節ときだむる」と仰せられています。

ものみななのいのち輝く春彼岸を私たちも、まことのいのちを目覚め、お念仏にであう聞法のときとさせていただきます。そうであれば、何十年生きさせていただいても、人生は空しいからです。人間は輝けないのです。まことの人間になれないのです。

北海道・斜里・西念寺の坊守であられた鈴木章子さんは、四十六歳という女の盛りるとき、癌の総攻撃を受けられました。はじめは乳癌、それが左肺・右肺に、そして両肺全体に、散弾を撃ち込んだようにひろがり、子宮・卵巣に、最後は脳に転位して、昭和六十三年の大晦日の朝、四十七歳で亡くなられました。が、鈴木さんは、もし私が、交通事故などによる突然の死を賜っていたら、四十六年が、空しいものに終っていたでしょう。のに、癌を賜ったおかげさまで、生死の一大事に目覚めさせていただくことができたのは、ほんとうにしあわせなことでした。全く全く癌のおかげですと、私への

手紙にも、まことのいのちへの目覚めのよろこびを、書いてくださっているのです。また、「死」の問題は、癌に罹ってから始まったのではなく、生まれたときから既に始まっていたのですが、赤ん坊や子どもの時でしたら、目覚め得ないまま、空しく人生を終ったでしょう。のに、私は四十六歳、ほんとうにしあわせでした。とも書いておられるのです。四人のかわいいお子さんをお持ちの、女の盛りの年齢を、「歎きの年齢」としてではなく、「しあわせの年齢」にしておられるのです。

癌になつてからは、ご主人と寝室を別にされたということでした。眠りの時間まで癌につきあつてもらつていたら、主人が体を壊してしまうという配慮からでした。そういう暮らしを、鈴木さんは、次のように書いておられます。

「お父さん ありがとう またあしたあえるといいね」と手を振る テレビを見ている顔をこちらに向けて 主人が「お母さん ありがとう またあしたあえるといいね」と手を振

「お父さん ありがとう またあしたあえるといいね」と手を振る テレビを見ている顔をこちらに向けて 主人が「お母さん ありがとう またあしたあえるといいね」と手を振

つてくれる 今日一日のしあわせが 胸いっぱいにあふれてくる そして 朝は 「お父さん あえたね」 「お母さん あえたね」と 恋人同士のような暮らしをしています 振り返ってみると この四十六年間 こんなあいさつを 一度だつてしたことがあつたでしょうか みんな 癌をいただいて 気付かされたことばかりです 「彼岸」の世界からの光に目覚めると、「此岸」の人生が、こんなに輝いてくださるのです。

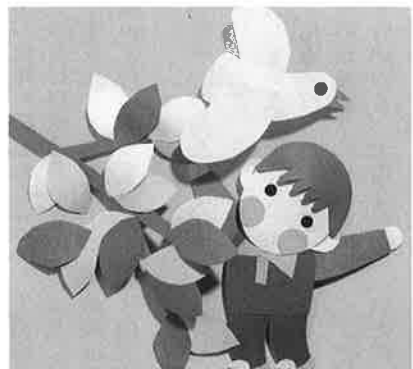
いよいよ最後は、癌が頭に転位し、脳手術を受けられたのですが、ご主人からのお便りによりまずと「ピカピカになつた頭を指して

臨終は 私の卒業式 として お浄土の入学式 わたし お浄土の一年生よと、笑つてみせてくれました」とありました。

「此岸」の人生が「彼岸」の光に目覚めると、こんなに、輝いてくださるのです。 出石の勝林寺さんのご門の側の掲示板に、いつか「目をあけて眠っている人の目を覚まさせるのはなかなかむずかしい」とあり、私のために如来様が、ため息をついておいでになる思いがしました。この「春彼岸」を、ぜひ「目覚めの彼岸」にさせて頂きましょう。

(出石組・東光寺)

歩々大徳の
 光り明に導かれ
 声々 掃取の
 中を懐こぶ



如來が
 私のいのちに
 なりきって
 救いたしもう

お念仏は今、生きる力

ほうち 龍祥
 宝池

ミーチャンは、アキラ君と恋愛をしました。しかし、周りの人達はみんな反対です。お父さん、お母さん、親戚の人も、「家柄が違う」「あの家の父親は……」誰もアキラ君本人を見ようとはしません。ミーチャンは悲しくて涙が出て止まりません。友達に相談しました。「一緒に家を飛び出したらええ」ミーチャンは「そんなこと出来へん」と思いました。誰に相談していいのか解らなくなった時、ふっと思い出したのは日曜学校でお念仏を教えてもらった住職さんの顔でした。お寺に走って行って事情を話しました。「よし、解っ

た。少し時間をくれ、何とかしたる。」ミーチャンのお父さんは、お寺の仏士の会長さんをしてたこともある人です。「話せばきつと解ってくれる。機会あるごとに何回も話しました。何がミーチャンにとつて幸福なのか。『お念仏を申す身を生き抜く』とはどういうことなのか。ミーチャンの家で話をする時には、心配そうに、こっそりと聞耳を立てているミーチャンの姿がありました。

何回目かのある日、お父さんの首が大きくうなづきました。「一度会って見よう。」住職さんの仕事はこれで終りました。私達は、周りのことばかり気になって中心が見えなくなる人が多いのです。心は色々な糸に引っぱられています。その糸がからみ合う時、どの糸を引かねばならないかが解らなくなる。お念仏は、そういった私達に「健康も、財産も、その他諸々のものもいらぬものではない。大切なものがあるのですよ。幸福の材料と幸福を一緒にたにしてはいけませんよ。」と教えて下さっているのです。

ミーチャンは、お念仏とは、遠い遠い、未来往生の為で、現実の問いに何一つ答えてくれないもの、思っていました。もうそんな思いはありません。お念仏は、生きて苦しんでいる私にとつて必要なんだと思うようになりました。平成二年五月に挙式が決まりました。もちろん仏式結婚式です。「お互いに大事な命を生き合やすところから、第二の人生を生きぬこうと思っております。」と強く明るく語るミーチャンは、きつと、お念仏を子や孫に伝えてくれることでしょう。幸あれかし。

(多可組・正福寺)

お仏壇・お仏具のお求めは、創業180余年の浜屋へ



大切にしたい日本の心

やすらぎのある生活
 浜屋の願いです。

やすらぎの世界を創る



- 岸和田店 045-2211-45
- 堺店 045-2211-61
- 堺店 045-2211-51
- 堺店 045-2211-54
- 堺店 045-2211-699
- 堺店 045-2211-783
- 堺店 045-2211-79
- 堺店 045-2211-29
- 堺店 045-2211-83
- 堺店 045-2211-22
- 堺店 045-2211-388
- 堺店 045-2211-53
- 堺店 045-2211-75
- 堺店 045-2211-413
- 堺店 045-2211-51
- 堺店 045-2211-371
- 堺店 045-2211-621
- 堺店 045-2211-927
- 堺店 045-2211-37
- 堺店 045-2211-26
- 堺店 045-2211-43
- 堺店 045-2211-82
- 堺店 045-2211-76
- 堺店 045-2211-62
- 堺店 045-2211-5
- 堺店 045-2211-93
- 大阪商品センター 0906-5511
- 大阪商品センター 097-2211
- 寺院工部 022-2211
- 和歌山店 045-2211-45
- 和歌山店 045-2211-61
- 和歌山店 045-2211-51
- 和歌山店 045-2211-54
- 和歌山店 045-2211-699
- 和歌山店 045-2211-783
- 和歌山店 045-2211-79
- 和歌山店 045-2211-29
- 和歌山店 045-2211-83
- 和歌山店 045-2211-22
- 和歌山店 045-2211-388
- 和歌山店 045-2211-53
- 和歌山店 045-2211-75
- 和歌山店 045-2211-413
- 和歌山店 045-2211-51
- 和歌山店 045-2211-371
- 和歌山店 045-2211-621
- 和歌山店 045-2211-927
- 和歌山店 045-2211-37
- 和歌山店 045-2211-26
- 和歌山店 045-2211-43
- 和歌山店 045-2211-82
- 和歌山店 045-2211-76
- 和歌山店 045-2211-62
- 和歌山店 045-2211-5
- 和歌山店 045-2211-93
- 和歌山店 0906-5511
- 和歌山店 097-2211
- 和歌山店 022-2211